

第5回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 5th Student Formula SAE Competition of Japan



社団法人 自動車技術会
会長 大久保 宣夫

大久保宣夫

今年で5回目を迎える全日本 学生フォーミュラ大会は、海外から4チームを含めて過去最高の62チームがエントリーいたしました。地域別に見ると、これまで参加がなかった北海道から1チーム、東北から1チーム、関東甲信越から27チーム、中部、東海、北陸から12チーム、関西、中国、四国から13チーム、九州から4チーム、海外は韓国から3チーム、台湾から1チームとなり、日本全国とアジアの学生たちが集う大会となりました。

本大会は、若者の理科離れや学校でのものづくりの機会が不足している状況下のもと「ものづくりによる実践的な人材育成プログラム」として2003年にスタートいたしました。

大会は、クルマの加速、ハンドリング、耐久性といった走行性能に加え、車両コンセプト、設計、製造、コスト、更にはプレゼンテーションスキルも審査の対象となる「ものづくりの総合力」を競い合います。

学生たちは、ものづくりの厳しさ・おもしろさ・喜びの中で、チームマネジメント、コミュニケーション能力を養うことになります。

また、過去4回の大会開催を経て、本活動を経験した多くの学生たちがその経験を生かしてエンジニアの卵として巣立っていったことは喜ばしい限りです。今後ますますこの大会を通して、ものづくりの楽しさを経験したエンジニアが社会で活躍されることを期待いたします。

最後になりますが、参加チームの皆さんのご健闘をお祈りするとともに、150を超える産学官の後援、協賛、スポンサーシップを頂戴した皆様、昨年に引き続き多大なご協力をいただきました開催地の静岡県、掛川市、袋井市の皆様、また、約300名の大会運営スタッフをご派遣いただきました企業、大学の皆様、そして、大会運営スタッフ一人ひとりの皆様に心より御礼申し上げます。